

新規採用・削除医薬品等通知

新規採用医薬品通知

【薬品名】	コムレクス耳科用液 1.5%
【英名】	Levofloxacin Hydrate
【規格・含有量】	1mL 中 日局レボフロキサシン水和物 15mg を含有
【一般名】	レボフロキサシン水和物
【メーカー名】	セオリア
【薬価収載日】	2023年5月
【薬価】	1瓶 1,568.10円
【薬効コード】	1329
【薬効分類名】	フルオロキノロン系抗菌耳科用製剤
【効能・効果】	〈適応菌種〉 本剤に感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、モラクセラ(プランハメラ)・カタラーリス、肺炎桿菌、エンテロバクター属、セラチア属、インフルエンザ菌、緑膿菌、アシネトバクター属 〈適応症〉 外耳炎、中耳炎
【用法・用量】	通常、1回6~10滴を1日2回点耳する。点耳後は約10分間の耳浴を行う。なお、症状により適宜回数を増減する。

【薬品名】	アウイクリ注 フレックスタッチ 総量300単位 劇 市販直後調査 2025年1月~2025年7月
【英名】	Insulin Icodec (Genetical Recombination)
【規格・含有量】	1筒(0.43mL)中 インスリン イコデク(遺伝子組換え) 300単位 を含有
【一般名】	インスリン イコデク(遺伝子組換え)
【メーカー名】	ノボ ノルディスク
【薬価収載日】	2024年11月
【薬価】	1キット 2,081円
【薬効コード】	2492
【薬効分類名】	週1回持効型溶解インスリンアナログ注射液
【効能・効果】	インスリン療法が適応となる糖尿病
【用法・用量】	通常、成人では、1週間に1回皮下注射する。初期は通常1回30~140単位とし、患者の状態に応じて適宜増減する。他のインスリン製剤を併用することがあるが、他のインスリン製剤の投与量を含めた維持量は、通常1週間あたり30~560単位である。但し、必要により上記用量を超えて使用することがある。

詳細は添付文書等をご参照ください。

削除医薬品通知

タリビット耳科用液 0.3%

4/1 削除

ビクトーザ皮下注 18mg

4/1 削除

供給不足による医薬品変更通知

変更後	変更前
<ul style="list-style-type: none">● <u>在庫消尽後変更</u> エピナスチン塩酸塩錠 20mg「ケミファ」	エピナスチン塩酸塩錠 20mg「VTRS」

供給不足により今後欠品の恐れがある薬品

タガメット錠 200mg

供給再開によるオーダー再開について

ベリチーム配合顆粒

3/28 再開済み

適応追加通知

<p>オンボ一点滴静注 300mg</p>	<p>【効能・効果】</p> <p>○中等症から重症の潰瘍性大腸炎の寛解導入療法(既存治療で効果不十分な場合に限る)</p> <p>○中等症から重症の活動期クローン病の治療(既存治療で効果不十分な場合に限る)</p> <p>【用法・用量】</p> <p>〈クローン病〉</p> <p>通常、成人にはミリキズマブ(遺伝子組換え)として、1回 900mg を4週間隔で3回(初回、4週、8週)点滴静注する。また、ミリキズマブ(遺伝子組換え)皮下投与用製剤による治療中に効果が減弱した場合には、1回 900mg を4週間隔で3回点滴静注することができる。</p> <p>〈他〉省略</p>
<p>オンボ一皮下注 100mg オートインジェクター</p>	<p>【効能・効果】</p> <p>○中等症から重症の潰瘍性大腸炎の維持療法(既存治療で効果不十分な場合に限る)</p> <p>○中等症から重症の活動期クローン病の治療(既存治療で効果不十分な場合に限る)</p> <p>【用法・用量】</p> <p>〈クローン病〉</p> <p>ミリキズマブ(遺伝子組換え)点滴静注製剤による治療終了4週間後から、通常、成人にはミリキズマブ(遺伝子組換え)として1回 300mg を4週間隔で皮下投与する。</p> <p>〈他〉省略</p>
<p>プレバイミス錠 240mg</p>	<p>【効能・効果】</p> <p>下記におけるサイトメガロウイルス感染症の発症抑制</p> <p>○同種造血幹細胞移植</p> <p>○臓器移植</p> <p>【用法・用量】</p> <p>通常、成人にはレテルモビルとして480mg(240mg錠2錠又は120mg顆粒4包)を1日1回経口投与する。シクロスポリンと併用投与する場合にはレテルモビルとして240mg(240mg錠1錠又は120mg顆粒2包)を1日1回経口投与する。</p> <p>通常、小児にはレテルモビルとして以下の用量を1日1回経口投与する。</p>

	体重	シクロスポリンの併用なし		シクロスポリンの併用あり																			
		用量	包数又は錠数	用量	包数又は錠数																		
	30kg 以上	480mg	120mg 顆粒 4 包 又は 240mg 錠 2 錠	240mg	120mg 顆粒 2 包 又は 240mg 錠 1 錠																		
	15kg 以上 30kg 未満	240mg	120mg 顆粒 2 包 又は 240mg 錠 1 錠	120mg	120mg 顆粒 1 包																		
	7.5kg 以上 15kg 未満	120mg	120mg 顆粒 1 包	60mg	20mg 顆粒 3 包																		
	5kg 以上 7.5kg 未満	80mg	20mg 顆粒 4 包	40mg	20mg 顆粒 2 包																		
プレバイミス点滴静注 240mg	<p>【効能・効果】 下記におけるサイトメガロウイルス感染症の発症抑制 ○同種造血幹細胞移植 ○臓器移植</p> <p>【用法・用量】 通常、成人にはレテルモビルとして 480mg を 1 日 1 回、約 60 分かけて点滴静注する。シクロスポリンと併用投与する場合にはレテルモビルとして 240mg を 1 日 1 回、約 60 分かけて点滴静注する。 通常、小児にはレテルモビルとして以下の用量を 1 日 1 回、約 60 分かけて点滴静注する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>体重</th> <th>用量 (シクロスポリン の併用なし)</th> <th>用量 (シクロスポリン の併用あり)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30kg 以上</td> <td>480mg</td> <td>240mg</td> </tr> <tr> <th>体重</th> <th colspan="2">用量 (シクロスポリンの併用の有無にかかわらず)</th> </tr> <tr> <td>15kg 以上 30kg 未満</td> <td colspan="2">120mg</td> </tr> <tr> <td>7.5kg 以上 15kg 未満</td> <td colspan="2">60mg</td> </tr> <tr> <td>5kg 以上 7.5kg 未満</td> <td colspan="2">40mg</td> </tr> </tbody> </table>					体重	用量 (シクロスポリン の併用なし)	用量 (シクロスポリン の併用あり)	30kg 以上	480mg	240mg	体重	用量 (シクロスポリンの併用の有無にかかわらず)		15kg 以上 30kg 未満	120mg		7.5kg 以上 15kg 未満	60mg		5kg 以上 7.5kg 未満	40mg	
体重	用量 (シクロスポリン の併用なし)	用量 (シクロスポリン の併用あり)																					
30kg 以上	480mg	240mg																					
体重	用量 (シクロスポリンの併用の有無にかかわらず)																						
15kg 以上 30kg 未満	120mg																						
7.5kg 以上 15kg 未満	60mg																						
5kg 以上 7.5kg 未満	40mg																						
デュピクセント皮下注 300mg ペン	<p>【効能・効果】 既存治療で効果不十分な下記皮膚疾患 ○アトピー性皮膚炎注) ○結節性痒疹 ○特発性の慢性蕁麻疹 ○気管支喘息(既存治療によっても喘息症状をコントロールできない重症又は難治の患者に限る) 注)</p>																						

	<p>○慢性閉塞性肺疾患(既存治療で効果不十分な患者に限る) 注) ○鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎(既存治療で効果不十分な患者に限る) 注) 注)最適使用推進ガイドライン対象</p> <p>【用法・用量】</p> <p>〈慢性閉塞性肺疾患〉</p> <p>通常、成人にはデュピルマブ(遺伝子組換え)として1回300mgを2週間隔で皮下投与する。</p> <p>〈他〉省略</p>
<p>イミフィンジ点滴静注</p> <p>120mg</p> <p>500mg</p>	<p>【効能・効果】</p> <p>○切除不能な局所進行の非小細胞肺癌における根治的化学放射線療法後の維持療法</p> <p>○切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌</p> <p>○進展型小細胞肺癌</p> <p>○限局型小細胞肺癌における根治的化学放射線療法後の維持療法</p> <p>○切除不能な肝細胞癌</p> <p>○治癒切除不能な胆道癌</p> <p>○進行・再発の子宮体癌</p> <p>【用法・用量】</p> <p>〈限局型小細胞肺癌における根治的化学放射線療法後の維持療法〉</p> <p>通常、成人にはデュルバルマブ(遺伝子組換え)として、1回1500mgを4週間隔で60分以上かけて点滴静注する。投与期間は24カ月間までとする。ただし、体重30kg以下の場合の1回投与量は20mg/kg(体重)とする。</p> <p>〈他〉省略</p>